

あゆみ

ayumi



ごあいさつ



明けましておめでとうございます。

平成最後のお正月をどのように過ごされましたか？

昨年は職員旅行の海外班が11月中旬から末に実施され、その後に幹部職員フォロー研修があったり、(仮称)こぶしえんの工事契約があったりで、忙しい暮れとなりました。

新しい年号はどんな名称なのでしょう？消費税も8%から10%に引き上げられます。何が何でも10%に上げたいようで、政府はあの手この手を打ってきます。

(仮称)こぶしえんの解体工事がいよいよ本格的になります。さくらえんのサテライト施設の計画も現実的になってきました。あゆみ保育園の改修工事も始まります。選択と集中という定石を逸脱して多方面で新たな事業を展開することになります。

事故が起こらないようにすることはもちろんのこと、既存の事業においてはあたりまえの生活にあたりまえのサービスが十分に提供できるよう、今まで以上に連携を取りながら仕事を進める所存です。

今年もみなさんにとって、そして徳心会にとって良い年でありますように。

社会福祉法人徳心会 理事長 関根陸雄



法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」



あゆみ保育園だより

冬休みが終わり子どもたちの元気な声、足音、笑い声が園内に戻ってきました。新しい年のスタートです。今年も、子どもたちと一緒に笑顔で園生活が送れるよう、子どもたちの思いを受け止めながら、職員一同力を合わせて保育していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月8日(火)の新年の集いでは小さな獅子舞が登場します。獅子舞には幸せを招くと共に厄病退治や悪魔払いの意味があり、獅子に頭をかまれるとその年は無病息災で元気に過ごせるという言い伝えもあります。今年一年、みんなが幸せに過ごせますよう、獅子にお願いしようと思っています。

保育課 課長 濱中 美穂



子ども達は様々な
経験を通して
成長していきます。



ショートステイ



あゆみえんショートステイでは日々来られるご利用者に非日常を体験してもらおうと、毎月バラエティに富んだイベントを開催しています。

昨年末にかけて実施したイベントには『お菓子づくり』として、季節にちなんだかぼちゃ団子、スイートポテト、クリスマスケーキづくりなどが挙げられます。『お菓子づくり』ではご利用者ひとりひとりに合わせて、ご自分ができることをさせていただいています。「わたしは焼くのは焦がしちゃうので苦手だけど、それまでの団子を練って丸めるまではやるわ」、「目があまり良くないから、スポンジケーキにデコレーションするのは難しいけど、生地を混ぜたりすることは出来るからやってみたいわ」と、始める前から積極的な意見が飛び交います。なかには「俺は“食べる”専門だから。それでも参加していいのか？」と冗談交じりにおっしゃる方もおります。もちろん参加していただいています。

『お菓子づくり』の他にも、屋上や1階の地域交流スペース(新町の里)にて普段とは異なる場所、松花堂弁当でお昼を楽しんでいただく『変わり昼食』、施設のご利用者と一緒に歌ったり、楽器を奏でる『音楽クラブ』などがあります。残り少ない平成最後の思い出として、みなさんに楽しんでいただけるよう今年も毎月のイベントを企画していきたいと思えます。介護2課 課長 佐々木美香

『お菓子づくり』の他にも、屋上や1階の地域交流スペース(新町の里)にて普段とは異なる場所、松花堂弁当でお昼を楽しんでいただく『変わり昼食』、施設のご利用者と一緒に歌ったり、楽器を奏でる『音楽クラブ』などがあります。残り少ない平成最後の思い出として、みなさんに楽しんでいただけるよう今年も毎月のイベントを企画していきたいと思えます。介護2課 課長 佐々木美香



デイサービス センター

あゆみえんです!

こんにちは! デイサービスセンターあゆみえんの小島です。今回は世代間交流、レクリエーションの紹介です。

デイサービスセンターあゆみえんではあゆみ保育園の園児との世代間交流をはじめ、さまざまなレクリエーションを行っています。

世代間交流では玉入れをしたり手形で動物の絵を作ったりと、ご利用者、園児ともに楽しめるような内容を実施しています。作品はあゆみ保育園にプレゼントし、デイサービス内にも掲示しています。園児とのふれあいにご利用者のみなさまも笑顔でいっぱいです。

レクリエーションでは、カラオケやあゆみえん職員による音楽レクリエーション、季節ごとの装飾の作成などを毎日行っています。また、ボランティアの方々によるウクレレ演奏会も定期的に実施しています。

ご利用者のみなさまに楽しんでいただけるレクリエーションを行えるよう取り組んでまいりますので、ご意見がありましたらデイサービスセンターあゆみえんまでお願いいたします。 介護1課 課長 小島千鶴



医務課より

寒く乾燥する日々が続いています。今年も、インフルエンザが流行するシーズンに突入しました。施設においては、予防接種をしても発症する可能性もあるため職員への手洗いうがい実施の注意喚起を行っています。一番初めに感染症を持ち込むのは施設の外からの持ち込みになりますので、そこを未然に防ぐ必要があり、職員通用口には手指消毒器を設置し、更衣室の洗面台には手洗い石鹸、うがい薬と使い捨て紙コップを設置しています。正面玄関にも手指消毒器を設置していますので、面会に来られた際にはご協力をお願いいたします。

乾燥を防ぐため部屋の湿度は加湿器を使用して50%を切らないように、室温は20℃に保つようになると、インフルエンザウイルスの増殖を防ぐ効果があるそうです。

あゆみえんではユニットの湿度・室温を適温に保つよう、各ユニットに加湿器と24時間換気設備が常備されています。医務課ではご利用者

の体調を毎日確認することに加え、介護課職員も個室ごとの湿度管理・温度管理を徹底し、みなさまの健康管理に努めてまいります。

医務課 小林恵美



青梅グルメ TOKYO X

突然ですが、TOKYO X (トウキョウ エックス) はご存知ですか? お肉好きの方なら、すぐに頭に思い浮かぶかもしれません。あゆみえんのある東京都青梅市には、青梅畜産センター(旧東京都畜産試験場)があります。この旧東京都畜産試験場で開発された豚が『TOKYO X』です。北京黒豚、パークシャー種、デュロック種という3品種のお父さんお母さんから、それぞれの良いところを受け継いで生まれました。

『TOKYO X』は上品な香りとさっぱりとした脂肪を持ち、なめらかな肉質で味わい深い美味しい豚肉に仕上がりました。

さらに、飼料には非遺伝子組み換え作物のトウモロコシや大豆を使用し、豚舎は十分なスペースと換気に配慮するなど、より健康的に育つよう飼育環境にも配慮されています。

そんな青梅発の美味しい『TOKYO X』豚肉を使用した料理を提供しているお店はいろいろありますが、その中でもあゆみえんから2kmほどの場所にある、美味しいと評判のお蕎麦屋さんにおじゃましてきました! お肉はほど良い弾力と甘みがあり、関東風のおつゆ、細めのお蕎麦と相性抜群です。ご主人によると、平成24年に東京サマーランドで開催された「第1回多摩げた食の祭典 大多摩B級グルメ」に“トウキョウX肉うどん”で参加し、初代ゴールドグランプリを獲得したそうです。そしてもっとこの美味しい豚肉を広めようと、東京都麺類協同組合西多摩支部に所属する蕎麦・うどん屋さんがタッグを組み、それぞれの店舗で“トウキョウX肉うどん”をメニューに取り入れていったそうです。みなさんも、ぜひお気に入りのお店を探してみてくださいはいかがでしょうか。

栄養課 山田粧美





おしえて! EPA!

バリ島のお正月

みなさん selamat siang (こんにちは) 今回は EPA 2期生チェルシーさんに、地元バリ島のお正月について教えてもらいました!

- Q: バリ島のお正月と日本のお正月ではどんな違いがありますか?
- A: 外に出ない。食べものも食べません。電気もなし。24時間。瞑想。断食。今年は3月7日がニュービ。
- Q: あ、1月1日じゃないんだ! バリ島のお正月は電気を消して1日中お祈りするってこと?
- A: そう。でもニュービだけ。その前にムラスティが3、4日続いて、オゴオゴ。そしてニュービ。次の日がゲンバグゲニ。
- Q: だいたい1週間くらいお正月の行事があるんだね。ムラスティやオゴオゴは何をする日?
- A: ムラスティは、神様入ってるものをきれいにします。海とか川で。みんなで。きれいな服を着て運びます。
- Q: 祀ってある御神体?を海で洗うって事?
- A: いいえ。洗わない。洗わないけど、きれいにします。
- Q: 洗わないけどきれいにする...お清めの儀式みたいな感じかな。オゴオゴは?
- A: プト・カロ(悪霊)を追い出します。鍋を叩いて。プト・カロはうるさいの嫌い。追い出されたプト・カロはいろんな顔や形の人形に入ります。プト・カロの入った人形を男たちが担いでガムランを演奏しながら歩きます。そして次の日がニュービ。一日静かに断食、瞑想します。
- Q: オゴオゴは賑やかなお祭りみたいな感じなんだね。日本でもお神輿の荒れ具合でその年の漁を占うお祭りがあるけど、プト・カロは悪霊だからもつとすこそうだね。そして次の日のニュービは完全なる静寂と。
- A: 最後の日。ゲンバグゲニは謝ります。
- Q: えっ! どういうこと?
- A: 友達、家族、親せきに自分の悪いこと、ごめんなさいって。そして許します。
- Q: ああ、最後はお互いに過去を許しあうんだ。そして新しい年を迎えると。なるほど! それは良い年になりそうだね。

聞き手: 介護5課 課長 沖野正宏



ようこそ! 昭和の街 青梅へ!

あゆみえんのある青梅市は東京西部、都心から快速電車で1時間余りのところに位置します。徳川家康の関東入りに際し、八王子代官所の出先機関として陣屋が置かれました。市内を流れる多摩川は水運に利用され、旧あゆみえんがあった成木の石灰が、江戸城の漆喰の原料として運ばれた歴史があります。青梅駅周辺は今でも宿場町をしのぶ伝統的な町並みが残っています。毎年1月12日には旧青梅街道沿いにだるま市がたち、多くの人で賑う冬の風物詩となっています。

近年は風情を生かした町おこしに熱心で、昭和レトロな町として有名になっています。JR青梅駅は町の玄関口として昭和30~40年代の雰囲気再現して観光客を出迎えます。「昭和レトロ商品博物館」「青梅赤塚不二夫会館」「昭和幻燈館」はノスタルジックな雰囲気に浸れる観光スポットです。商店街には往年の名画の看板絵がかけられ、小さな路地には味のある景色が隠れています。あゆみえんからは電車で3駅です。青梅駅隣の観光案内所で地図を手に入れ、昔懐かしい風景を求めて散策してはいかがでしょうか。

総務課 福岡直子



在宅交差点

~ 老いを受け入れる ~

先日、包括センターに相談がありました。関西在住の息子さんと市内に住む母親に毎週電話で様子を聞いていたそうです。母親は息子に心配は掛けられないのでいつも「心配ない、大丈夫。」と言っていたそうです。息子さんが東京に出張のため自宅に1年ぶりに帰ったところ、母親は足をいため部屋を片付けることが大変になり、実家は足の踏み場のない状態になっていたそうです。

息子さんはこの状態を見て、どういうことですか?と最初是对応した職員に怒りをぶつけてきましたが、職員より、親も年を取ること、体の機能が弱りできなくなることが増えることを説明しました。最初は信じられない様子で聞いていましたが、徐々に落ち着いて理解いただき、介護サービスの説明を受けてお帰りになりました。

核家族化が進み、以前は当たり前のように家で見ていた老いや死が、今では目にするすることがありません。老いや死は誰にでも訪れます。その時になる前に、普段から家族で将来の話をする機会を持つようにしていただきたいと思います。 在宅課 課長 河崎広一

□ あゆみえんインフォメーション □

詳しいお問い合わせは、あゆみえん、相談課まで
電話 **0428-30-5550**

あゆみ VOL.90

発行 社会福祉法人 徳心会
特別養護老人ホーム あゆみえん 広報委員会
〒198-0024 青梅市新町9丁目2153番地3
TEL.0428-30-5550 FAX.0428-30-5570

発行人 園長 高橋大介
編集人 広報委員長 沖野正宏
発行日 平成31年1月1日
E-mail ayumien@tokushinkai.jp
HP http://www.tokushinkai.jp/



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。



EPA4期生!

今年もEPA(経済連携協定)に伴い、インドネシア人介護福祉士候補生の受け入れを行いました。徳心会として今年は7名の受け入れを行い、あゆみえんにはフィットリさん、チャヤンさん、アシーさんの3名が昨年の12月より大きな希望を胸に元気に働いております。さて、平成最後ということもあり、いろんなことがものすごいスピードで変わって行きますが、あゆみえんではど

んな時代になっても良いケア、良いサービスを提供できるよう職員一同、そして新しい仲間と共に、努力を重ねて行きたいと思っておりますので、今後とも応援のほど卒よろしくお祈りいたします。

介護5課 課長 沖野正宏
イラスト: 介護4課 久保田萌奈

